

# 大 野 岳

教育目標「ふるさとを愛し 夢・志をもつ児童生徒の育成」

～ふるさとに学ぶ ふるさとを学ぶ ふるさとの人と共に歩む～

令和6年7月1日発行 文責 校長 中尾 聡彦

## 感謝を伝える会

6月19日(水)に、「前田教一様に感謝を伝える会」を行いました。

前田教一様(笠椎在住)からは、母校への思いをご寄附という形で示していただき、この度「登校坂の桜の植樹」「『あいさつ・へんじ日本一』の木柱設置」「学校教育目標の看板作成(伊万里実業高等学校作成)」「前田教一文庫の充実」「校名の表示(西九州自動車道から学校を見下ろしたときに南波多郷学館であることが分かるように職員室屋根に校名を表示する予定)」に活用させていただきました。

感謝を伝える会では、前田様からの母校や子どもたちへの思いを話していただきました。

その中で、「みなさんには、先生方の教えをしっかりと守って真面目に勉強をがんばってほしい。」という言葉が印象的でした。

本校には、真面目にがんばるという校風が残っているように思います。

全校一斉に無言掃除に取り組んでいますが、掃除時間に口を開く子はいません。1年生も無言で掃除をしています。これは、後期課程の生徒が模範を示しているからだと思います。

「真面目にがんばる」ことを否定したり、茶化す人がいたりすれば、この校風は崩れていきます。「真面目にがんばる」ということは簡単なことではありません。この校風をいつまでも大事にして欲しいと思っています。



【前田教一文庫】



【校訓】



【愛郷坂】



## 愛郷坂(あいきょうざか)

本校の入り口には「あいさつ・へんじ日本一」という木柱があり、そこから校門までは坂道になっています。

この春に、新たに桜の木を植樹してもらい、この坂道自体が明るい雰囲気になりました。

そこで、児童生徒会では、この坂道に名前をつけようということになり、全校に名前を募集したところです。児童生徒会にとっては、「これから10年も、20年も残る名前を…」「もしかしたら、自分たちの子どもが通うことになるかもしれない坂道の名前を…」という視点で、名前を選ぶ作業は難しかったようです。最初の案は、坂道の上半分を「桜輝坂(さくらきざか)」、下半分を「輝郷坂(ききょうざか)」という案でした。その後、幾度となく検討を重ねた結果、「愛郷坂(あいきょうざか)」という名前に決定しました。「愛郷坂」に込められた思いは、「ふるさと南波多を愛する」「南波多郷学館を愛する」という意味です。また、桜の植樹に係るご寄附をいただいた前田教一様の母校を愛する思いも込めたということでした。

とてもすばらしい、そして本校らしい名前をつけてくれたことに感謝しています。

この思いが、この先ずっと大事にされることを願っています。

## 中体連の壮行式がありました

21日(金)の朝、5年生以上の児童生徒が体育館に集まり、29日から行われる中体連の壮行式が行われました。

その時に話を紹介します。

いつもの制服や体操服ではなく、ユニホームに身を包み、オーラを醸し出すりりしい姿に感動しています。

これから地区大会まで、1週間です。ここからが大事です。大会が終わり、自分自身に尋ねたときに悔いが残っていないよう、練習を重ねて欲しいと思います。

去年の壮行式で、「最後の最後まで、勝負をあきらめない！最後は、これまでの努力や仲間との絆に裏打ちされた「気持ちの強さ」が勝敗を決めることになると思う。」という話をしました。

去年のバレーボールの試合では、準決勝の1セットまでは緊張のせい表情も硬く見えたが、ギャラリーにいる保護者の応援団を見たとき、初めて笑顔があふれました。強豪相手にチーム一丸となって立ち向かっていった姿が印象的でした。

一人では乗り切ることができない場面でも共に練習してきた仲間と一緒にあれば立ち向かっていくことができます。支えてきてくれた人々の思いを力に変えることができれば立ち向かっていくことができます。

自分のために、仲間のために「最後の最後まで、勝負をあきらめない！」

南波多郷学館のすべての先生方、そして児童生徒でみなさんを応援しています。

がんばってください！